

2026年度
新設

ワクワクしたら、やってみよう！

岡山理科大学

アントレプレナーシップセンター

大学の人材や研究成果を社会につなぐ
「挑戦の機会」の創出

「アントレプレナーシップ」とは「失敗を恐れずに挑戦し、新しい価値を創出していく精神」のことです。変化の激しい時代において、どのような仕事をするにしても必須の姿勢となっています。

岡山理科大学アントレプレナーシップセンターは、JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)のスタート・アップエコシステム形成支援事業で採択されている中四国の大学のプラットフォームである「PSI(Peace & Science Innovation Ecosystem)」と連携し、運営をしております。

PSIは、豊かな自然環境を抱える中四国地域を中心に、「平和を希求する精神のもと、世界にイノベーションを生み出す」ことをビジョンとし、10年後には、「世界中からスタートアップや支援者が結集し、平和を希求しながら世界にイノベーションを生み出すグローバルエコシステムの1つとなる」ことを目指し、18大学(2026年3月時点)が参画しています。

このビジョンを達成するため、プログラムの実施を通して、GAPファンドの構築、支援人材の拡充、起業環境の整備、グローバル拠点の構築などを行っています。



Access



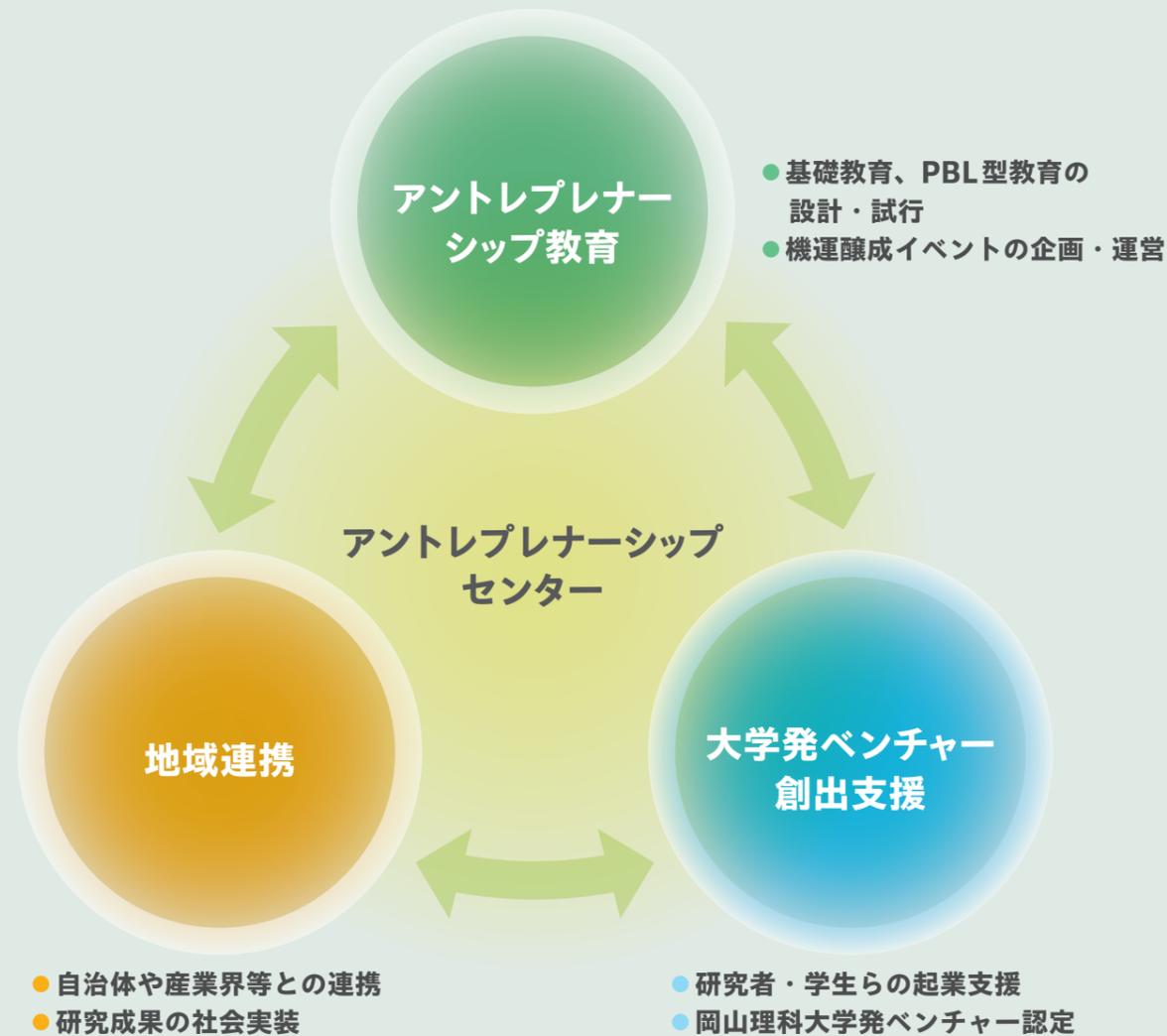
〒700-0005
岡山県岡山市北区理大町 1-1
研究・社会連携部
アントレプレナーシップセンター担当
TEL : 086-256-9731
FAX : 086-256-9732
e-mail : entre-c@ous.ac.jp
<https://renkei.office.ous.ac.jp/entre-c/>



Supporters



3つの事業領域



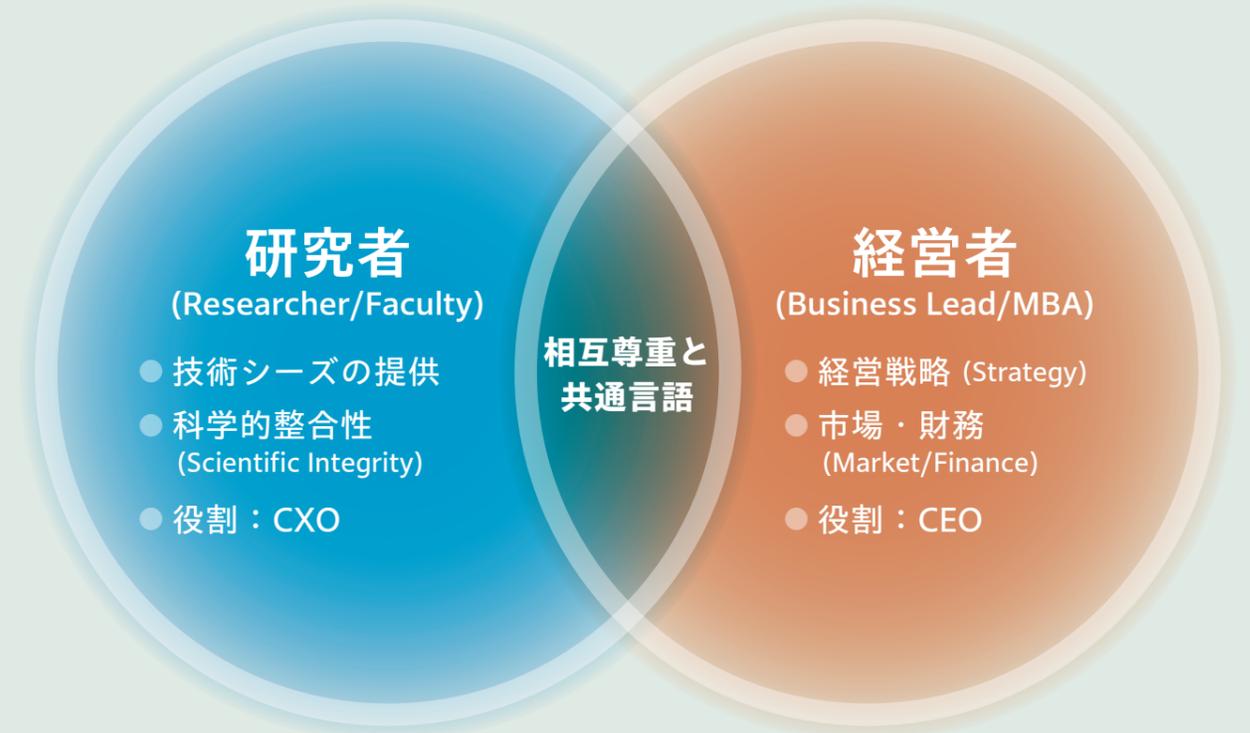
センター理念

大学の人材や研究成果を社会につなぐ「挑戦の機会」を創ります。

教育、起業支援、産学官民連携を通じて、学生や研究者のアイデアと技術を事業へと育てる支援を提供し、地域と共に新しい価値を生み出すエコシステム形成に貢献します。

研究と経営の位置付け

研究者は必ずしも「経営者」になる必要はない



センター長挨拶

「アントレプレナー」は経済学者のシュンペーターが『経済発展の理論』の中で「イノベーションの実行者」を称した言葉です。後に経営学者のドラッカーが『イノベーションと企業家精神』の中で「不確実な変化の中でも機会を発見し、事業を成功させ続ける行動」を「アントレプレナーシップ」と定義しました。日本では「起業家精神」と訳されることもありますが、本来、起業に限定されるものではありません。

学生への教育はもちろん、教員や職員もアントレプレナーシップを発揮できるよう、様々な学習や実践の機会を紡いでまいります。グローバルに考え、地域と共に動き、社会を共に創るアントレプレナーシップセンターに、皆さんも一歩踏み出してご参画ください。



岡山理科大学
アントレプレナーシップ
センター長

本下 真次

センター次長挨拶

現在、社会は急速な環境変化の中にあり、従来の延長線上だけでは解決できない課題が増えています。こうした時代に求められるのは、課題を自ら発見し、挑戦し、価値を創り出すアントレプレナーシップであると考えています。

本センターでは、起業に限らず、企業・地域・行政・教育など多様な場面で新しい価値を生み出す人材の育成を目指します。学生、研究者、企業、自治体、金融機関、地域社会の皆さまと連携し、「実社会とつながる学び」と「挑戦を支える環境づくり」を推進してまいります。

また、生成AIをはじめとする先端技術についても、単なるツール活用にとどまらず、課題解決や価値創出に活かす思考力と倫理観の育成を重視します。さらに、本センターが地域や社会に開かれたプラットフォームとして機能するよう取り組んでまいります。



岡山理科大学
アントレプレナーシップ
センター次長

林 恒宏